
鳩

土田かこつ

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

鳩

【Nコード】

N25680

【作者名】

土田かこつ

【あらすじ】

帰り道に会った、小さな生きもの。

命の終わりを知りながらそれでもなおあかく姿に、同情じゃない共感と憐れみじゃない敬意を込めて。

生きものが死んでいくのを初めてみた。

いつまでたつても慣れない仕事を終えて、なかば放心したまま駅に向かう帰り道。

時期の終わった桜並木の川沿いのむこうに、はた、はた、とは何かがためいているように見えた。

ポイ捨てされたコンビニ袋かなにかだろうか。

が、そのかすかな動きは風のせいではなかった。

そのモノ自身の力で、はた、はた、と不自然なリズムを刻んでいる。鈍い灰色のかたまりが見えた。

鳩。

はた、はた、とコンクリートを叩いているのは片側の翼だ。

金属みたいな灰緑の首筋、その先にあるはずの頭がきっちり90度に折れていた。

もう一方の翼は身体の下になっている。

車のフロントガラスにでも衝突したんだろうか。

（バカだな。）

ぼうつとしてるからだ。

かわいそうというよりはむしろ一方的な共感を感じて、灰色の体をながめた。

踏みつけられた落ち葉でまだらになったコンクリート。横になった体は傷もなく妙に綺麗で、曲がった首さえなければただ眠ってるんじゃないかと思っただろう。

はた、はた。

はた、はたた。

翼が刻むリズムが不規則に、だんだん間遠になっていく。

（死ぬ。のか、）

まだ生きているのに。

わけもなく焦れた。

人が見たらたぶん不審人物だろう。死にかけの鳩の前でずつつつたっているなんて。頭の隅で想いながら、それでも目が離せなかった。

今、こいつは何を感じているんだろう。

（苦しい？）

鳴きはしない。

暴れもしない。

もうそんな力もないんだろうか。

なら痛いとか苦しいとか、そんなことも感じなくなってるんだろうか。

でも動いてる。かすかに、たしかに、コンクリートを叩く。訴えている。

（生きたい、とか思うんだろうか）

間抜けな鳩。不注意の事故。

はたして私だったら、生きたいと思うのか。

生きたいと訴えられるんだろうか。助けてくれる手なんかないとわかっていて。

汚い。気味が悪い。不衛生だ。

やってくるのは獣医ではなく保健所だとわかっていて。

あきらめるほうが簡単だ。

痛みから逃げるように、早く眠ろう、眠ってしまおうと。

灰色の翼がコンクリートをすった。
もう叩くことも出来ていない。

獣医は呼ばない。保健所も呼ばない。
このまま終わりまで見届けよう。

動かなくなった小さな体を川原の土手まで持っていった。
最期まで生きとおした鳩に敬意を表して手を合わせる。
せめてきとんと土にかえりますように。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2568o/>

鳩

2010年10月11日18時35分発行